

2024年8月29日

住友ナコ フォークリフト販売株式会社  
住友ナコ フォークリフト株式会社

### フォークリフトの特定自主検査における不適切検査について

弊社は、2024年4月26日に公表いたしました、住友ナコフォークリフト販売株式会社の国内営業所におけるフォークリフトの特定自主検査の不適切検査について、その後、他に同様の不適切な検査がないか調査を継続しておりましたが、調査の結果、新たに不適切な検査が確認されましたので、この度、所轄官庁である厚生労働省に報告を致しました。お客様をはじめ、関係各位に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今回の不適切な検査を、住友ナコフォークリフトグループは重く受け止め、今後、適切な特定自主検査を全検査員が行うことを第一に、お客様および関係者の信頼回復と再発防止に向けて、全社一丸となって取り組みを進めてまいります。

#### 1. 不適切な検査の内容

弊社は、2024年4月26日に、2017年～2019年、2021年の2台の車両の特定自主検査において、定期自主検査指針に沿った検査を怠っていた（延べ4件の不適切な検査）ことを、厚生労働省に報告するとともに、対外公表をいたしました。具体的には、制動装置の検査のうち定期自主検査指針で示されているブレーキ内部の検査において、ブレーキドラムを外しての検査を怠ったものです。その後、他に同様の不適切な検査がないか、社内調査をした結果、不適切な検査が新たに18台、延べ18件あったことが判明しました。

不適切な検査の内容は以下のとおりです。

	検査項目	不適切な検査の実施年	不適切な検査の台数 (件数)
4月26日報告の不適切な検査	ブレーキドラムを外しての検査の怠り	2017年～2019年、 2021年	2台（4件）
新たに確認された不適切な検査	ブレーキドラムを外しての検査の怠り	2022年～2024年	17台（17件）
	ホイールの検査の不備（後輪を浮かせずにホイールベアリング部を確認した）	2024年	1台（1件）

尚、検査不備が判明した車両の内、再検査が必要な車両は、8月26日時点で全て再検査が完了しています。

## 2. 不適切な検査の原因

- (1) ブレーキドラムを取り外して行う制動装置の検査作業において、検査時間の制約などから、定期自主検査指針に沿った検査を徹底できておらず、検査員の判断で一部検査を省略していました。
- (2) ホイールベアリング部の検査作業において、検査時間の制約などから、定期自主検査指針に沿った検査を徹底できておらず、検査員の判断で、後輪車輪を浮かせずに作業をしていました。
- (3) お客様のご事情により、一定の条件を満たす場合は、一部検査項目が未検査となることを認める運用をしておりました。この点については、定期自主検査指針に対する会社の認識の甘さによるものです。

## 3. 再発防止策

- (1) 検査記録の作成・保管の基準を改定し、ブレーキ分解検査状況を写真に撮影し、検査の確証として記録を保管するように改善しました。
- (2) ホイール検査作業の不備につきましては、検査基準を再度社内に周知致しました。
- (3) お客様の事情による未検査対策として検査の受託基準を改定し、未検査項目のある検査は受託禁止としました。
- (4) 検査者教育基準を改定し、従来実施していた、新任検査員教育、中途採用検査員教育、能力向上教育（5年毎）とは別に、定期的に（年1回以上）特定自主検査に係る教育を本社が実施するように改善しました。
- (5) 内部監査については引き続き内部監査基準に基づき計画的な内部監査を実施します。加えて、実地監査基準（検査の実地指導）を改定し、実地監査の対象者を、経験の少ない検査員中心から全検査員に拡大し、かつ、計画的に対象者を選定して実地監査を実施するように改善しました。

## <お客様窓口>

住友ナコ フォークリフト販売株式会社 カスタマーサポート部 担当:小山  
電話番号:03-6721-5661

## <広報窓口>

住友ナコ フォークリフト株式会社 人事総務部 担当:花井  
電話番号:0562-48-5251